

## 平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「集落サポーター」による効果的な活動体制構築プロジェクト
対象地域	広島県神石高原町
対象地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島県の東部、県東部の中心地である福山市から約30kmに位置</li> <li>・ 高梁川水系の源流部、標高400～500mの高原が大部分を占める豊かな自然に恵まれた農山村（総面積381.81km<sup>2</sup>）</li> <li>・ 人口11,308人、総世帯数4,210世帯（平成21年4月1日現在）</li> <li>・ 高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）は県内一の42.8%（平成17年国勢調査）</li> </ul> <p>【本事業の対象集落（小規模・高齢化が特に進んだ集落）】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【位置図】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【荒廃が進む集落】</p> </div> </div>
提案内容の概要	<p>小規模・高齢化が特に進んだ集落（全集落数の2割）を対象に、見守り活動や話し合い活動を支援する集落サポーターの効率的な活動体制を構築するため、集落機能再構築に向けた集落社会サービスの実態調査や合意形成能力を高める研修、関係者の共通認識を深めるワークショップにより、集落サポーターの育成・確保を図ります。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町では、小規模・高齢化が特に進んだ集落の大部分が近い将来、消滅するかもしれないという危機意識のもと、平成20年度から集落の維持・再生を図るための取り組みに本格的に着手しました。</li> <li>・ これらの集落を対象（当時42集落）に行った意向調査（平成20年9月）では、「鳥獣被害の増加」「農地の荒廃」「祭り等催しの困難化」など様々な面で集落活動に支障を来しながらも、回答者の過半数が「自分の家で住み続けること」を希望しています。</li> <li>・ さらに、調査を行うなかで、過疎・高齢化の過度な進行によって集落機能が脆弱化し、地域住民同士の会話が疎遠になり、行政情報もほとんど伝わっていないことも明らかになりました。</li> <li>・ これらの集落が5～10年後も存続できるよう、祭りや共同作業など集落機能の再構築を図るためには、地域住民が主体的に今後の地域のあり方について話し合うことが大切です。</li> <li>・ その取り組みを促すためには、行政と地域住民をつなぐ担い手（新たな公）として、行政施策（制度）の活用や行政施策では限界のある地域固有の問題に対応しながら、地域づくりのための合意形成活動を進める「集落サポーター」を育成・確保することが必要となっています。</li> <li>・ 本町では、少子・高齢化や市町村合併等に対応した新しい住民自治のモデルとして、平成15年から「ながの村」（旧神石町永野地区）の取り組みが行われています。</li> <li>・ 「ながの村」は村長（地域マネージャー）を配置し、地域コミュニティ活動や地域資源管理等について一元的な管理・運営を行うほか簡易宿泊施設の運営や都市住民との交流に取り組むなど、旧永野小学校を拠点に地域支援センターとしての大きな役割を果たしており、地域づくりにあたっては地域の実情に合った取り組みを行うことが必要とされています。</li> <li>・ このため、平成21年度から、集落サポーター（JA、行政経験者等）と地域担当職員を「集落サポートセンター」に配置し、小規模・高齢化が特に進んだ集落及び関係自治振興会を対象に、全戸見守り活動と集落の話し合い活動（集落再生化プロセスの策定と実行）を支援します。</li> <li>・ 集落の話し合い活動を促すためには、集落サポーターが効果的に活動できる体制づくり（提供する情報の収集、連絡体制の整備、合意形成能力の向上等）や、集落サポーターのスキルアップ（ワークショップ手法や地域マネジメント手法等に係る技術習得）が課題となっています。</li> </ul>

	<p>・また、平成 22 年度から取り組む集落再生化プロセスの実行に向けて、集落サポーター、行政、地域住民の役割分担を明確にすること（期待される役割、共通認識の醸成）が課題です。</p>
(2) 活動内容の案	<p><b>活動①</b>：集落社会サービスの実態調査</p> <p><b>内容</b>：(6～8月)</p> <p>集落機能の再構築に向けた集落での話し合い活動を促すにあたり、集落で取り組まれている様々な社会サービス（回覧板など行政情報の伝達、草刈など共同作業等）の実施状況と問題点を体系的に把握するため、集落を対象にヒアリングを行い、その結果を基本情報（人口、世帯数、年齢、家族構成、後継者の有無等）とあわせてデータベース化し、取組課題（町共通、集落固有）を抽出します。</p> <p><b>活動②</b>：集落サポーターのスキルアップ研修</p> <p><b>内容</b>：(6～3月)</p> <p>集落サポーターの合意形成能力を高めるため、ワークショップや地域マネジメントの手法について、事例紹介や意見交換、実地指導など、地域づくりを実践している専門家（協議会所属の者）による助言・指導を行います。</p> <p>あわせて、集落サポーターと地域担当職員とが進捗状況を確認し、情報を共有するための集落サポーター連絡会議を定期的に開催します。</p> <p><b>活動③</b>：集落サポーター、行政、地域住民の役割分担の検討</p> <p><b>内容</b>：(12～3月)</p> <p>平成 22 年度から取り組む集落再生化プロセスの実行に向けて、集落再生化プロセスの活動内容を集計・分析のうえ、地域づくりを実践している専門家（協議会所属の者）も交えたワークショップを開催し、集落サポーターが地域住民から必要とされている活動（行政施策担当者との調整等）やその実現可能性について検討し、集落サポーター、行政、地域住民の共通認識を深めながら役割分担を明確化します。（3回開催）</p>
応募団体名	<p>神石高原町美しい源流の里維持再生協議会 （神石高原町、神石高原町自治振興連絡協議会、中国・地域づくり交流会、財団法人広島県農林振興センター）</p>
リンク	<p><a href="http://www.jinsekigun.jp/">http://www.jinsekigun.jp/</a></p>
部局／担当者名	<p>企画財政課 入江嘉則 岡崎 謙</p>
連絡先	<p>0847-89-3332</p>
推薦市町村名	<p>広島県神石郡神石高原町</p>